

安心して病院行けない

婦人の体の具合についての回答は「悪い」が10・2%、「時々悪い」51・5%と合わせて61・7%。およそ3人に2人が体調に不安を持っています。

が増えています（左図）。営業所得別に「病院に行けなかった理由」をみると、所得100万円未満の層では「治療費が高い」22・6%で、5人に1人が経済的理由で病院に行けなかったことが分かります。調査では、営業と生活が苦しい人ほど体の調子が悪く、健康保険料が払えず病院にかかれ

ないという実態が浮き彫りになっています。国民健康保険（国保）には、医療機関の窓口で支払う医療費を安くすることができ、「一部負担金減免制度」（国保法44条）があります。国保一部負担金減免制度は自治体ごとに要綱が決められています。活用を進めながら、実態に即した内容の拡充も必要です。国保加入者のうち、出障されます。しかし、国産前に「休めなかった」と答えた割合は19・3%と5人に1人が出産間近まで働いたと回答。また、産後休暇は、「休めなかった」3・9%。4週間未満は29%に達します。労働者であれば、労働基準法で産前6週・産後8週の休暇中の所得は保や出産手当の制度を創設すべきです。

病を押して商売継続

ゆっくり休むことができず、具合が悪くても「我慢する」16・8%、「売薬で済ませる」14・4%など、医者にかかることなく働き続ける業者婦人が払えず病院にかかれ

札幌中部民商婦人部

尾谷 幸子さん61

IIスナック



り、入院するか迷った。検査で、卵巣脳腫も見つかり、入院が長期間になった。傷病手当があるわけでもなく、店のことが心配だった」と話します。

尾谷さんは免疫力を下げないために体調に気を配っていますが、夜7時から夜中1時過ぎまで営業しています。睡眠時間は4〜5時間しか取れず、体調が悪いと思ったときは店で10分ほど、横になり体調を整えます。

12月ということもある。尾谷さんは「時期が来ると多少無理をし

福岡・博多民商婦人部

貝嶋 槇子さん71

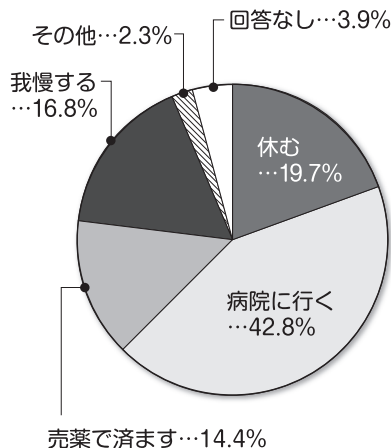
II食堂、居酒屋



退院後の翌日には店に立ち、昼11時から夜11時まで営業しています。

博多市内で昼はカレー専門の食堂、夜は居酒屋を経営している福岡・博多民商婦人部の貝嶋槇子部長（71）は、7年前にぼうこうがんを発症しました。

体調の悪い時どうしますか？



5 健康

全国業者婦人実態調査

要求実現へ